

富士スピードウェイ 御殿場・小山広域行政組合消防吏員との 第1回合同救急研修会を開催

富士スピードウェイは、9月17日（木）と18日（金）の2日間、地元御殿場・小山広域行政組合所属の救急・救助隊、消防隊（以下、消防吏員）との**第1回合同救急研修会**を開催しました。

地元消防吏員とサーキットの救急救助担当者との相互の活動を理解することにより、救急救助に関する知識と技術の幅を広げ、日頃、地域で行われる救助水準とサーキットにおける救助活動双方のレベル向上を図ることを目的としています。

第1回研修会は、「フォーミュラカーからの車外救出」をテーマに、富士スピードウェイ担当者がサーキット特有のレーシングカーからのドライバー救出方法をレクチャーする内容で行われ、地元の消防吏員41名が参加しました。

サーキット特有の救助活動は、一般社会で必ずしも多くを活用できるものではありませんが、昨今普及しつつある、救急医がヘリやクルマで現場に直行する**ドクターヘリ**や**ドクターカー**など自動車レースの救急医療体制から社会に還元された例もあります。

富士スピードウェイでは、今後もテーマを変えて研修会を定期開催し、地元消防吏員と更なる連携を図りながら、地域社会とサーキット双方の救助活動の向上に貢献できればと考えています。

【研修会概要】

1. 座学講習

国際自動車連盟（FIA）が定める救出方法を富士スピードウェイが改良した「フォーミュラカー用救出マニュアル」をもとに、富士スピードウェイ担当者がスライドで救出手順を説明。

※公道での乗用車からの救出は通常3名の救助者で行われますが、フォーミュラカーでは6名が対応します。救助者ごとに役割が詳細に定められており、各救助者の適確な作業とチームワークが求められます。参加した地元消防吏員は普段とは全く違う救出方法を熱心に受講していました。

2. 実技講習

富士スピードウェイスタッフによる救出デモンストレーションやフォーミュラカーの構造や救出時に使用する資機材について説明がなされた後、消防吏員による実技講習を実施。

※富士スピードウェイ担当者のアドバイスのもと、地元消防吏員は効率よく車外救出を実践していました。

■スライドを使用して救出方法の説明を受ける消防吏員



■実車救出に臨む消防吏員



以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

富士スピードウェイ株式会社 東京営業部 広報・総括課

TEL:03-3556-8511

FAX:03-3556-8518